Habitat for Humanity® Japan

HFHJ Newsletter

ハビタット・ジャパン　ニュースレター

第14号　2009年7月発行

09年11/15～20 開催：ジミー＆ロザリン・カーター ワークプロジェクト

ジミー&ロザリン・カーター ワークプロジェクト（以下JRCWP）は、毎年7～10日間に渡って、ハビタットの活動を精力的に支援してきた第39代アメリカ合衆国大統領ジミー・カーターそしてロザリン夫人と、世界から集まる数千人規模のボランティアが一堂に会し住居建築活動を行う一大プロジェクトです。

今年は11月15（日）～20（金）の日程で、メコン川流域の5ヵ国（タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、中国）で開催を予定。世界からのボランティア（タイでは3,000人の参加者を予定）と寝食を共にし、全体で160軒余の住宅完成を目指します。カーター夫妻は、主にタイ チェンマイ市の建築現場での活動を予定しています。

また今年で26回目を迎えた本プロジェクトでは11月の開催と同時に、5ヶ年計画の啓蒙キャンペーンを開始し、プロジェクト実施各国での継続的な支援活動を予定しています。

上）2005年、アメリカ（ミシガン州）にて

プロジェクトの歴史

ホワイトハウスを去る時、スタッフが大工道具を贈ったという逸話があるほど、大統領在任当時から大工としての腕前が有名であったカーター氏（下-写真右）とハビタットとの関わりは、1984年ニューヨーク市で19世帯が住む6階建てシェルターの修繕を手伝ったのが始まりでした。

上）2002年、南アフリカで子供たちと

ハビタットの創設者である故ミラード・フラー（左下 -写真中央）の活動理念に賛同したカーター氏は、ホワイトハウスを去った後、ロザリン夫人と共に毎年「ジミー・カーター ワークプロジェクト※」を自ら率い、この活動を通じて世界に貧困住宅撲滅に向けたメッセージを発信しています（次号では過去の活動を紹介します）。※2006年より「ジミー&ロザリン・カーター ワークプロジェクト」に名称変更。

ジミー・カーター　Jimmy Carter

- *2002年ノーベル平和賞受賞*
- *第39代アメリカ合衆国大統領（在任期間1977-81年）*
- *海軍士官学校卒業後、上院議員（1962-66年）ジョージア州知事（1971-75年）*
- *1924年アメリカジョージア州生まれ*

チェンマイプロジェクト概要

チェンマイはタイの首都バンコクに次いで発展した都市で、JRCWP2009参加5カ国の中で最大の事業地に指定されています。チェンマイ近郊では近年、仕事や安定した生活を求める様々な少数民族の都市部への移住が進んでいます。しかし十分な生活保障システムが機能しておらず、彼らの多くがスラムでの生活を強られる結果を招いています。住宅の多くは、なんとか日差しや風雨を避け、身を守るため、手に入る材料を何でも寄せ集めて建てられた小屋です。生活に最低限必要な要素すら整っておらず、例えば、近くにある用水路を洗面や洗濯場所代わりに使用しているのが現状です。JRCWP2009ではこのようなスラム地域でも活動を予定しています。

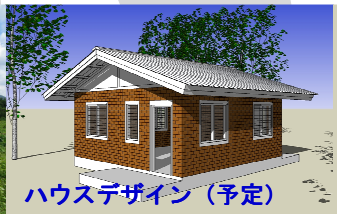
チェンマイでは今年12月2日に生誕82年を迎えるタイ国王に敬意を表し、1週間の事業期間中に82軒の完成を目指します。また5カ国のうち最大の事業地で、開会式と閉会式もここで開催されます。

参加ボランティア募集中！

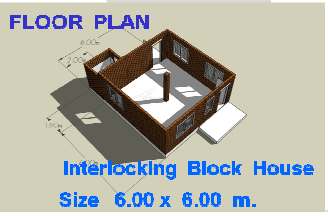
今回、日本からの参加者は、タイチェンマイ市で活動します。世界各国から集まるボランティアや現地人々と共に汗を流し、社会貢献してみませんか？

- **■旅程：09年11/14-21（22日帰国）**
- **■募集人数：30名**
- **■募集締切：7/31**
- **■参加資格：18歳以上の心身ともに健康な方（建築経験、英語力は一切不要!!）☆参加費等、詳しくは、www.habitatjp.org まで**

事業予定地



ハウスデザイン（予定）



東海大学 Same Same but Tokai バングラデシュGV活動(2/22～3/8)報告＆体験記

上）建築現場に来た子供たちと

ぼくらが行った、バングラデシュ

ぼくらが訪れたバングラデシュは、サイクロンや大雨の影響で洪水の絶えない国として知られています。さらに国全体が低地のため、洪水の際は国土の半分が水に浸かることもしばしばあります。2004年には大規模な洪水が起き、64県中41県が冠水し3500万人以上が被災、100万戸の家が被害を受けたほか、2007年にはサイクロン「シドル」が発生し、被災者は892万3259人に及びました。

日本での洪水のイメージとは異なり、バングラデシュでは洪水が起きることが当たり前で、生活と密着していることもあり、洪水に対して良い洪水と悪い洪水と分ける面白い考え方を持っています。そのため、洪水を防ぐために堤防の建設などが行われていますが反対意見も多く、せっかく出来た堤防を住民が壊してしまったこともあるそうです。

Same Same but Tokai が残してきたこと

このようにバングラデシュは洪水などの自然災害が多いことなどの問題があり、住居建築支援のニーズが高い国であると言えます。ぼくらSame Same but Tokaiチーム（14名）は2週間に渡ってバングラデシュのドゥルガプール郡ビリシリ村で住居建築活動を行ってきました。

当時のホームオーナーの家は藁の屋根で壁は土であり、強度に不安がありました。これはバングラデシュにおいて共通した問題ですが、ハビタット・バングラデシュでは周辺に数多くあるレンガ工場で作られるレンガを主に使用しており、ぼくらはレンガ造りの家を2軒、建築することになりました。

ワークは9時から5時まで、レンガ運び・砕き・積み、土台作り（土運びや土固め）、セメント作りなど自分達の出来る範囲の仕事を行いました。家作りと聞くと専門的な知識がいるのかなと思う人も多いと思いますが、単純な力仕事も多く専門的な知識が無い私達にも十分な作業が出来ます。

ワークは決して楽なものではありませんが、自分の気持ちさえあれば誰でも参加でき、やりがいがあり、達成感のある仕事だと思います。今回、2軒とも完成には至りませんでしたが、屋根周辺の作業まで終了させることができました。残りの作業は現地で引き続き行われます。完成までの経過を見守るとともに近い将来もう1度、同じ場所に行って建てられた家がどのようになっているのか見に行きたいと思います。（東海大学CC・新城洸一、茂手木裕也）

■「アジア砒素ネットワーク」

バングラディッシュについて調査を進めていく中で、井戸の約30%が砒（ヒ）素汚染されているという現実を知りました。人は住む家があるだけでは生活できません。安心して住む場所があり、安心して暮らせる周りの環境があってこそ、きちんとした生活ができます。私たちは現地のNPO法人アジア砒素ネットワークに協力を依頼し、現地での状況を学ぶと同時に、建築現場の井戸が砒素汚染されているかを調査しました。その結果、調べた5つの井戸すべてが行政の定めた基準値を下回り、安全を確認することができました。私たちは今後も住居そして住環境という視点から、これらの問題について取り組んでいきたいと考えています。

寺薗佑介（てらぞの・ゆうすけ）
東海大学教養学部国際学科

今回で5回目となるGVは、私にとって一生忘れることのできない体験となった。バングラデシュにはエネルギーが溢れ、毎日が新しい発見と感動で充実した日々を過ごすことができた。家が建つにつれてGVメンバーと現地の人々との仲も築かれ、互いに成長した経験になったと思う。また、滞在期間中に、以前に建築活動携わった家を訪問することができた。自分の成長のためのはずだったボランティアが、支援される側に対して役に立っていることをこの目で見ることができて本当によかったと思う。多くの人のサポートのおかげでこの素晴らしい体験ができた事を大変感謝している。本当にありがとうございます。

ダウ・ケミカル社 青少年育成事業： 活動報告

ダウ・ケミカル社の支援を受けたチームによるGV報告会が5月23日(土)、東京銀座の日産ギャラリーで開かれ、青山学院大学CClubと明治学院大学CCが発表を行いました。本記事では報告会の紹介を兼ね、ダウ・ケミカル社 芹澤充子さんの支援への想いをご紹介致します。(青山学院大学CClub・永岡麻咲、永森春菜)

世の中を変えていけるという事を感じ取ってほしい

ダウ・ケミカル社は世界でグローバルに社会貢献活動を行っています。ハビタットとの関係も長く、25年に渡り世界各地で従業員がハビタットの建築活動に参加してきています。

上）明治学院大学CCによる発表

去年私がハビタット・ジャパンの理事長に就任したのをきっかけに、ジャパンに支援が欲しいとの提案をダウ本社に致しました。当初、日本国内に建築事業を持たないため却下されましたが、ジャパンの貢献について説明し交渉を重ねた結果、ようやく予算獲得することが出来ました。

家は人の礎。家族を１つにし、コミュニティの活性化、発展を生み、より良い居住環境を築き上げます。国を越えて、様々な人との共同作業を通じ、人と人との信頼関係を築くことで平和へと繋がっていきます。日本の若者の皆さんには、世界における貧困を自分の目で見て、色々な方法で自分が世の中を変えていけるという事を感じとって頂きたいと思います。

これからの人生のプラスに

報告会の開いた理由は、この活動を日本でのダウ・ケミカルの社会貢献の１つとしてより深く認識してもらうためです。報告会では、貧困の人達への支援活動をされ、その経験や感動を大変上手くまとめられたと思います。特に現地での共同生活や作業を通し学ばれた事は今後の人生のプラスになると信じています。社会人になられても、汗水流し炎天下で作業した事、現地の子供達へ将来を与えてくれたその感動を忘れずに、ハビタットの輪を広げていって頂きたいと思います。（芹澤談）

はじめまして、早稲田支部です！ WHABITAT

この春、早稲田大学にハビタットCClubが誕生しました。国内のCC&CClubは、これで16支部になります。今回はその創設者、佐藤裕美さん(早稲田大学・社会科学部)に早稲田支部誕生秘話を聞いてきました。(明治学院大学CC・星晃子)

GVがとにかく楽しかった

Q：CCを創ったきっかけは？

佐藤裕美(以下S)：海外にただ行くだけじゃなく、何か違うことをやりたい。そう思い、たまたま見つけた「地球の歩き方」とハビタットが共催したタイのGVに参加しました(4面に関連記事)。最終日に家の譲渡式でホームオーナーの想いを感じ、「家」の重さというものを実感しました。もしかして自分はすごいことをやったのかな。そう思い帰国後、友達にその話をすると皆が興味を持ってくれたんです。その後オフィスにボランティアスタッフとして週2回ほど行くようになりました。そこでCCの話を聞いて、やりたいと思ったんです。

上）2008年、地球の歩き方で参加したGV

Q：具体的にはどんな行動を？

S：まずはもう一度チームを作ってGVに行こう、と色々な大学からチームメンバーを集め、インドネシアに行きました。4月からは新入生勧誘に力を入れ、メンバー30人のサークル“WHABITAT”を立ち上げました。

「次に動くきっかけを作る」

Q：GVとWHABITATへの想いは？

S：私はGVに参加して、今まではボランティアについて頭で先に考えてしまっていましたが、目の前のことを一生懸命やるだけで何かが変わる、とポジティブに考えるようになりました。GVを楽しんで、そのときの想いを持ち続ける。そして一人ひとりの考え方は違ってもいい、それぞれが世界に対して動くきっかけを作ってくれればと思います。

Q：今後の抱負をお願いします。

S：まずは大学内でのハビタットの知名度を上げたいです！

★ありがとうございました。佐藤さんの目は生き生きと輝いていました。これからのWHABITATの活躍に期待です。

海外建築ボランティア募集！ with 地球の歩き方

今夏もタイのバンコク郊外で住居建築活動を行います。貧困や災害で苦しむ現地住民のために、その家族と一緒に協力し合って家を建てていきます。ワークは安全基準をクリアした建築現場でのみ行いますので、建築経験やスキルは一切不要です!!

ワークの他にも孤児院、幼稚園または小学校を訪問し、現地の子供たちとの交流する他、バンコク市内観光、最終日にはお別れパーティーなども予定しています。

あなたも国を越えて現地の人たちと共に汗を流し、異文化に触れ合いながら、世界の現状を学ぶGVに参加してみませんか？詳しくはハビタット・ジャパンホームページをご覧下さい！（東海大学CC・石川さゆり）

Travelers with a Purpose（目的ある旅）ハビ人集会（7月7日）

7月7日（火）開催されたハビ人集会には、関西で活発な活動を展開する立命館大学CC "Rits Habitat（リッツ ハビタット）" がついに登場！ダウ・ケミカル社からの助成金支援を受け今春インドネシアで行ったGV活動報告に加え、関西での国内活動についても紹介頂きました。「僕らの熱い想いを支えてくれたのは、募金や活動に協力してくれた方々や支援を頂いた企業の気持ちだった！」と、GVやハビタットへの "熱さ" が伝わる発表に、今回集まった社会人、そして関東CCの学生メンバーは、これまでにない新鮮な刺激を受けていました。皆さんも是非、ハビ人集会に参加して刺激的な一夜を過ごしてみてはいかがでしょうか？次回ハビ人集会は9月を予定しています。（明治学院大学CC・谷内有里）

寄付・助成金リスト（2009.4.1-6.30）

みなさまのご支援は「誰もがきちんとした場所で暮らせる世界」実現のために使わせていただきます。ご支援ありがとうございました。
（敬称略・順不同）

4/20	㈱レガメント	900
4/30	特定非営利活動法人国際協力NGOセンター	6,903
5/25	MEITO CHRIST INTERNATIONAL	16,684
5/29	ダイワハウス工業	430,000
6/4	菅野　正人	20,000
6/10	タニヤ　カーター	34,000
6/18	㈱コスモスイニシア	360,000
6/19	特定非営利活動法人国際協力NGOセンター	5,527

ハビタット用語集

-*-

■ GV：グローバル・ヴィレッジ・プログラム

…ハビタットの短期海外建築ワークキャンプ。15～20人のボランティアチームが、通常7～10日間、海外で現地の人々とともに建築活動を行います。

■ CC：キャンパスチャプター（正団体会員）＆ CClub：キャンパスクラブ（賛助団体会員）

…学生によって自主運営されているハビタットの学生団体。①建築活動、②啓発活動、③ファンドレイジングを中心に国内外で活発な活動を行っています。

編集後記

今号も前号に引き続き、学生スタッフ協力のもと、無事、NL発行にこぎつけることが出来ました。精力的な取材活動ありがとうございました！事務局では今夏から秋にかけて予定している盛り沢山の活動・イベント準備を着々と進めています。その模様は10月号でお伝えします。Have a nice summer trip!（事務局・山崎顕太郎）

事務所移転のご案内

この度、当団体は2月16日（月）より下記へ移転し業務を行うことになりました。今後ともより一層のご指導とご支援を承りますようお願い申し上げます。なお、URL＆Emailはこれまで通り変更ありません。

Habitat for Humanity® Japan

新所在地：
〒160-0023　東京都新宿区西新宿4-17-3
ベル・パークシティ西新宿 217
Tel: 03-6304-2543　Fax: 03-6304-2544
URL: www.habitatjp.org
Email: info@habitatjp.org

発行人：芹澤充子
編集人：山崎顕太郎、青山学院大学CClub、東海大学CC、明治学院大学CC、山本真太郎、清水智弘